

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月 25日

【応募者】 団体名 : 長野県安曇野市・安曇野市観光協会・(株)トラベルプラザあづみ野 所在地 : 長野県安曇野市穂高 6658 番地 安曇野市穂高総合支所内 TEL/FAX : TEL 0263-82-3131 FAX 0263-82-6622 担当者 : 安曇野市; 赤須 観光協会; 内川 (株)トラベルプラザあづみ野; 横井 メールアドレス : m.akasu@city.azumino.nagano.jp 登録旅行業 : 第 2 - 286 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 30000389	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">3 2</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
安曇野水物語 — お水まつりと安曇野の水時間—	長野県	安曇野市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 多くの生命を生み出し、安曇野の豊かな大地を作る水に感謝するお祭り「お水まつり」また、伏流水となった北アルプスからの雪解け水が湧き出ている安曇野わさび田湧水群は日本名水百選のひとつ。日量 70 万トンの湧き水は真夏でも水温が 15 度を越えることがなく、わさび栽培や虹マスや信州サーモンの養殖に利用されている。		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】 朝日新聞の調査によると、「日本一の名水でのどを潤す」のテーマで 1 位に選ばれた安曇野わさび田湧水群。そんな安曇野はまさに山の上の「水の都」。蛇口をひねれば飲める水が出てくる日本では、普段何気なく傍に水が存在しているが、それは人を癒す存在にも・嫌悪をあたえる存在にもなりうる。豊かで清らかな安曇野の「水」を五感でとらえ、存在をあらためて感じ、身の回りの環境に興味をもってもらいたい。また、何が「豊か」なのか考え、感じてもらいたい。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:) 【催行人員】 25 名 (最少催行人員: 10 名)

【原価】 20,579 円 (春) 21,869 円 (秋) 10 名の場合料金 (大人 1 名)
 内訳
 ・小型貸切バスドライバーのみ NET (春 75,600 円 秋 85,050 円) ・通行・駐車 (秋 4,000 円) ・電車 (春 230 円 秋 320 円) ・宿泊 (春 10,545 円 秋 8,985 円) ・昼食 (春 1,840 円 秋 1,680 円) ・クリアポート (900 円) ・お水取りセット代 (300 円) ・明神池 (250 円) ・おやつ代 (721 円) ・その他 (260 円)

【販売価格】 23,900 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人 1 名 (各回共通) 23,900 円 【子供料金】 有 (20,900 円 / 1 名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

豊かな水は安曇野での生活に溶け込み、その存在価値を忘れられがちです。しかし、春・秋に水の恩恵に感謝し、豊作・水難防止を願うお祭り、「お水まつり」をきっかけに水の里を PR するものです。

安曇野の豊富で清らかな水が、大地を潤すだけでなく人々の疲れた心や体を潤す、無くてはならない大切なものであることを再認識していただきたい、そのきっかけを安曇野の地で見つけ、感じてほしいと願っています。

また、安曇野を離れた後に思い出せるその風景が、まさに 1 人 1 人の心の潤いとなるような「水物語」の提案です。

【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】

① 安曇野市 観光課 / 全体企画	⑤ /
② 安曇野市観光協会 / 全体企画	⑥ /
③ (株)トラベルプラザあづみ野/全体企画	⑦ /
④ /	⑧ /

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】 宿泊施設は 2 名 1 室となります。狭い道があるため小型バス運行となりますが、バス増車にて催行人員は増やせます。※40 名の場合 2 台。バスガイドはつけてありません。現地スタッフの案内となります。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1 日目 (春 1 日目)	大系線で北アルプスをながめながら安曇野へ 田舎駅で下車! ウォーキング 先人の偉業 11:09 JR 松本駅 ⇒ 11:28 JR 南豊科駅下車 ⇒ 道祖神・田植えの頃の風景を見ながら ⇒ 拾ヶ堰 安曇野の水が育てた味 湧き水を飲む 風景を感じる 水琴窟で癒される ⇒ 信州サーモン丼を食す ⇒ 安曇野の里 ⇒ わさび田群 ⇒ マス池 ⇒ 花林桃源郷 蔵久 ⇒ 16:00 頃 宿 (ほりで一ゆ〜四季の郷 温泉 予定)
2 日目 (春 2 日目)	水と海の神様 三川合流地点で迎える 田園風景を鑑賞 水が旨けりやそばもうまい! お土産処 8:30 宿 ⇒ 穂高神社 ⇒ お水むかえの儀 ⇒ 長峰山展望 ⇒ 信州安曇野そばを食す ⇒ ワイナリー見学 ⇒ 14:20 頃 JR 松本駅 (解散)
3 日目 (秋 1 日目)	秋の風景と新米を楽しむ 信濃富士を間近に望める 水車とクリアポート 実際に参加し、お水をすくう 12:10 JR 松本駅 ⇒ 車中で弁当 ⇒ 12:42 JR 安曇野追分駅 ⇒ 大王わさび農場 ⇒ 三川合流地点でお水とり 湧き水で虹マス養殖 コンクリートのない川 ⇒ 水辺の楽校せせらぎ周辺散策 ⇒ 16:00 頃 宿 (ダイヤモンドあづみ野温泉ホテル 予定)
4 日目 (秋 2 日目)	天然の冷蔵庫 さわやかウォーキング お水を返す神事 8:00 宿 ⇒ 風穴の里 ⇒ 奈川渡ダム ⇒ 大正池 ⇒ 上高地河童橋 ⇒ 穂高神社奥宮 明神池にてお水返し 景色を楽しむ の儀 ⇒ 散策 ⇒ 16:00 頃 JR 松本駅 (解散) ※ お昼は、安曇野特産! 信濃黒 (黒大豆) のおにぎり弁当

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 水と海の神様を祀る神社で、奥宮が中部山岳国立公園の中心 松本市安曇上高地明神池に鎮座している。お水まつりで迎えられた水は、穂高神社の本殿にお神水として安置される。</p> <p>【お水まつり・穂高神社】</p>	 <p>【コメント】 安曇野の清らかな水で育った食。きめが細かく肉厚。とろりととろける舌触りと豊かな風味で、心も、体も優しく元気になれる。</p> <p>【信州サーモン】</p>	 <p>【コメント】 疎水百選の1つ。全長 15 キロの水路を人力のみでわずか 3 ヶ月で完成させ落差はわずか 5 分。ほぼ標高 570m の等高線に沿って水路が設けられ、安曇野の水田を潤している。</p> <p>【拾ヶ堰】</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 長峰山山頂からは、緑豊かな安曇野の風景が眼下に広がり、三川合流地点も望める。ここからの風景を川端康成、井上靖、東山魁夷の三氏は「残したい静けさ美しさ」と評した。</p> <p>【長峰山頂】</p>	 <p>【コメント】 北アルプスからの湧き水が流れる「蓼川」ここにボートを浮かべて、その清らかさを目の当たりにでき、黒沢明監督が手掛けた映画「夢」に使われた 3 連水車を近くで見ることが出来るのも魅力</p> <p>【大王わさび農場】</p>	 <p>【コメント】 4 月下旬から徐々に始まる田植えの風景は、米処安曇野での春の風物詩。稲が育ち、風景が緑に変わるころまでは、水田に山々が映しだされる。(まるで鏡のよう)</p> <p>【田園風景】</p>




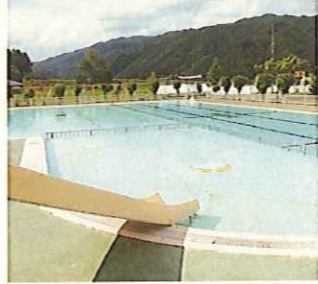

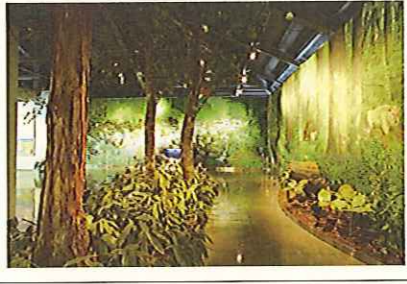
【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月26日

【応募者】 団体名 : 木曾川・水の始発駅フォーラム 所在地 : 長野県木曾郡木祖村大字藪原 1191 番地 1 TEL/FAX : TEL 0264-36-2001 FAX 0264-36-3344 担当者 : 木祖村役場産業振興課内 事務局 湯川喜義 メールアドレス : shihatsueki@kisomura.com 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) 3 3
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
夏の里山体験ツアー 『自然の恵みと奥木曾湖をカヌーで満喫』	長野県	木祖村
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
木祖村は木曾川の源流の地であり、また木曾の祖先であるとも言われている。その源流地域で育つ岩魚やブルーベリーなどの自然の恵みに触れるとともに、木曾川が流れ出す最初のダム(味噌川ダム)を活用したカヌーを体験する。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	木曾川源流の水で育つ岩魚をつかみ、自らがさばき、塩焼きをすることやブルーベリー狩りなどの山村特有の体験をすることにより、山や水の大切さを肌で感じてもらう。また2日目には木曾川が始まる最初のダム湖(味噌川ダム湖)を活用してカヌー体験を行うことにより、水に育む自然の偉大とその恵に感謝する気持ちを養う。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 8月上旬)	【催行人員】 15名 (最少催行人員: 5名)
【原価】	内訳 岩魚つかみ 500円/ブルーベリー狩り 1,000円/バーベキュー 3,000円/宿泊代 6,000円/ カヌー体験 800円/記念撮影写真代 100円/指導料 1,640円/昼食代 1,000円/その他消耗品 500円	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
・ 源流の清流の中で育つ岩魚をつかみ取り、自分でさばいて自分で焼く。 ・ 目に良いとされているブルーベリー狩り放題。 ・ 味噌川ダム湖でのカヌー体験は、奥木曾大橋から奥の湖面が細く蛇行をしていて、林道もトンネルに入ってしまうため、水面上を進んでいかなければその絶景は一切見ることができない。「鷹廻りの岩場」は普段人目につかない場所に位置している。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① こだまの森	／ 会場の提供	⑤
② 木祖村ワンダリングクラブ	／ カヌー指導	⑥
③ 水資源機構味噌川ダム管理所	／ カヌー場所の提供と見学	⑦
④ 木祖村観光協会	／ 情報提供	⑧
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	参加者集合(13:00)・・・ウェルカムイベント(13:15)～岩魚つかみとブルーベリー狩り(13:30)～フリータイム(16:00)～夕食(バーベキュー)(17:00)～宿泊先(19:00)	
2日目	宿泊先(9:00)～カヌー体験(9:30)～昼食(12:30)～木曾川源流ふれあい館見学(13:30)～解散(14:00)	
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 こだまの森で岩魚つかみ	【コメント】 ブルーベリー狩り	【コメント】 味噌川ダム(奥木曾湖)でカヌー
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 源流の水を貯めたこだまの森親水プール	【コメント】 木曾川源流ふれあい館	【コメント】 木曾川源流ふれあい館内 源流の森

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月20日

【応募者】 団体名： 観光協議会「ようこそ梅ヶ島」 所在地： 〒421-2301 静岡県静岡市葵区梅ヶ島4269-10 大野木荘内 TEL/FAX： TEL 054-269-2224 FAX 同左 担当者： 志村浩夫（会長） メールアドレス： 登録旅行業： 第 ー 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源 地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color: red;">34</h1>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
「名水とふれあう」安倍川上流梅ヶ島・自然湧水ツアー (滝めぐり、安倍川の水源地、温泉、大谷崩れ、ヤマメ養殖、ワサビ田見学など)	静岡県	静岡市葵区 梅ヶ島
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
梅ヶ島地区は、「平成の名水百選」に選ばれた安倍川の上流部です。安倍川は、古来より静岡地域市民の生活や社会を支えてきた、良好な水質を保つ清流です。		
【日程】	1. 日帰り ②. 一泊二日 ③. 二泊三日 ④. その他 ()	
【旅の目的】	「平成の名水百選」に選ばれた安倍川の上流部、梅ヶ島地区を、「水」を切り口にして観光します。水源を辿ったり滝めぐりをし、自然の雄大さに触れてもらい、更に「清流」を活かしたヤマメ養殖やワサビ田などを見学することによって人々の生活とのつながりを学んだりして、普段何気なく飲んでいる水を改めて見直してもらおう、との目的です。	
【実施時期】	○春・○夏・秋・冬・通年 / (実施時期:)	【催行人員】 60名 (最少催行人員: 15名)
【原価】	円 14,850円 (大人1名) 内訳 14,000円 (一泊三食付き、サービス料込み) 700円 (消費税) 150円 (入湯税)	
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】		
安倍の大滝は、落差が約90mと、中部地方でも最大級の大滝です。また、赤水の滝は県道沿いで車中からも見学できます。 秘境の沢登りでは、巨木が林立していたり、小さな滝や貴重な植物、野鳥や動物などがみられたりと、神秘的なまでの原生の自然が堪能できます。安倍峠付近の水源地では、苔に覆われた岩肌からポタリと落ちる「究極の最水源」を見ることが出来ます。 梅ヶ島温泉は、武田信玄の隠し湯の一つで1,700年もの歴史のある古からの自然湧出の本格温泉です。食事は、猪、川魚、山菜などの地元で採れた食材を使った山里料理が楽しめます。 大谷崩れは今から200年前に地震の崩落で生じた、日本三大崩れの一つです。雄大な扇形の崩れを下から一望できます。 魚々(とと)の里では、清流を利用したヤマメの養殖を行っており、釣り体験や塩焼き体験もできます。 有東木(うとうぎ)は、栽培ワサビ発祥の地として知られ、清流を利用したワサビ田を見学でき、さらに地元直営のお店でワサビ漬作り体験やそば打ち体験ができ、さらに地場産品を買い求めることもできます。		
【企画協力(後援)機関/団体名/主な役割】		
① 静岡市 観光課	／広報	⑤ /
② 静岡観光コンベンション協会	／広報	⑥ /
③	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	宿泊日当日の昼食(お弁当)は各自でご用意ください。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】			
1日目	8:30 10:00 10:30 13:00 14:30 15:00 16:00 16:30	静岡駅前送迎バス 出発 黄金の湯で自家用車参加組と合流 ワサビ沢へ ワサビ沢入り口より源流の探索 昼食 安倍峠から安倍川の水源地散策 安倍大滝入り口 到着 安倍大滝まで散策 安倍大滝入り口まで戻る 各宿泊施設へ 各宿泊施設にて宿泊 夕食 温泉入浴	(車で移動) (車で移動) (車で移動) (車で移動)
2日目	8:00 9:00 10:00 11:00 13:00 14:00 14:30 16:00	各宿泊施設にて 朝食 各宿泊施設 出発 大谷崩れ 散策 魚々の里 ヤマメの釣り体験 塩焼き体験 昼食 魚々の里 出発 ワサビ栽培発祥の地 有東木「うとうぎ」見学 有東木 出発 静岡駅前送迎バス 到着 解散	(車で移動) (車で移動) (車で移動) (車で移動) (車で移動) (車で移動) (車で移動)
3日目			
4日目			

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 安倍の大滝(左)と赤水の滝(右)	【コメント】 源流ツアーと水源地	【コメント】 梅ヶ島温泉街
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 大谷崩れ(大谷嶺は海拔2,000m)	【コメント】 魚々(とと)の里	【コメント】 有東木のワサビ田

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月 日

【応募者】 団体名 : 三島市地域振興部商工観光課 所在地 : 三島市北田町4-47 TEL/FAX : TEL 055-983-2656 FAX 055-983-2754 担当者 : 柿島 淳 メールアドレス : kakishima1814@city.mishima.shizuoka.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) 3 5
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
ふるさとガイドの会と歩く「清流の小径散策ツアー」 ～清流がよみがえった源兵衛川を歩く～	静岡県	三島市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 三島市の中心市街地には清流が流れています。かつて「水の都」と呼ばれていた三島も、高度成長の中で湧水が枯渇しました。「湧水を復活させたい」、「原風景をよみがえらせたい」その思いで、市民、企業、市民団体、行政による協働のまちづくりが展開されて、現在の美しい水辺環境が復活しました。		

【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】	三島を知り尽くした「ふるさとガイドの会」の案内により、ガイドブックやインターネットでは知ることのできない街の宝物を発見してもらうことを目的とします。6月～10月には市内のいたるところで水が湧いている様子を見ることができ、湧水ならではの冷たく澄んだ水に触れながら、どこか懐かしい雰囲気を感じてもらいたいと思います。また、屋食は三島名物「うなぎ」をお召し上がりください。		
【実施時期】	春・夏・秋・冬・ <u>通年</u> / (実施時期:)	【催行人員】	5名以上 (最少催行人員: 2名)
【原価】	内 訳		
	ガイド料: お客様2名～10名でガイドが1名つきます。ガイド1名につき1,000円 屋食料: うなぎ実費 (約2,000円) その他: おやつ代、事務手数料等		
【販売価格】	円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

- 【旅行企画のセールスポイント】
- ・ 旅の案内は地元を知り尽くしている「ふるさとガイドの会」がきめ細かくサポートします。対人ならではの相手のニーズ、時間、体力に合わせた案内となるので、満足度も高まります。
 - ・ 少人数から対応できます。気の合う仲間との個人旅行として計画できます。
 - ・ 三島名物のうなぎを食べることが行程に入っても安価な設定となっているので、お得なプランとなっています。
 - ・ 街の中には無料でお茶の飲める「せせらぎ一服処」が設置されています。散策途中でゆっくり休憩することができます。
 - ・ 市街地にもかかわらず、5月中旬～6月中旬にはゲンジボタルが飛び交っている姿を見ることができます。
 - ・ 散策ルート沿いには、B級グルメで注目を集めている「みしまコロッケ」認定店が数多くあります。食べ歩きもできます。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	
① 三島市観光協会/情報発信、申込受付、地元調整	⑤ 三島市地域振興部商工観光課/情報発信、地元調整
② 三島市ふるさとガイドの会/お客様案内(ガイドツアー)	⑥ /
③ 三島市うなぎ横町町内会/屋食対応	⑦ /
④ 三島商工会議所/一服処での休憩、商店街でのもてなし	⑧ /

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	三島市観光協会では第三種旅行業登録を現在申請中です。H22年度よりANTA会員となる予定です。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】

1日目	JR三島駅～楽寿園～源兵衛川～三石神社～源兵衛川～三島梅花藻の里～佐野美術館～三嶋大社(おやつ:福太郎餅)～桜川～白滝公園～JR三島駅(昼食:うなぎ)
2日目	
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>源兵衛川 【コメント】 楽寿園から流れる富士山の伏流水を源流とする源兵衛川には、川の中に木や石でできた散策路があり、せせらぎの音を聞きながら歩くことができます。夏には水遊びをする子ども達であふれかえっています。</p>	 <p>三嶋大社 【コメント】 伊豆国の一宮。源頼朝が挙兵に際し祈願を寄せ、緒戦に勝利したことで著名です。春にはソメイヨシノや三島桜、枝垂れ桜が咲き多くの観光客が訪れます。また8月には三島夏まつりが開催され賑わいます。</p>	 <p>ミシマバイカモ 【コメント】 水のきれいな場所でしか育たないミシマバイカモ。楽寿園の小浜池で発見されたこの花は、白い梅の花に形が似ていることからその名がつけました。可憐な白い花を咲かせる貴重な植物です。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>ゲンジボタル 【コメント】 源兵衛川などいたるところで、初夏にはホタルが飛び交うのを見ることができます。新幹線の停車駅から徒歩5分の市街地でホタルが乱舞する水辺環境があるのが、三島市民の誇りです。どこか懐かしい原風景をお楽しみください。</p>	 <p>三島市ふるさとガイドの会 【コメント】 平成3年に結成された同会は、三島を訪れる観光客に対し、会員がボランティアで名所旧跡等を案内しています。年間4,000人近いガイドをしており、参加者の持ち時間やニーズに合わせたガイドが好評です。</p>	 <p>うなぎ 【コメント】 養殖はしていないのに三島のうなぎは美味しい。秘密は富士山の伏流水です。三島の水に一週間さらし続ける事で泥臭さが消え、身が引き締まり人気が高いです。市内には30店舗以上のうなぎ屋があり、各店舗、タレの味など様々な工夫をしています。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年 2月26日

【応募者】 団体名 : NPO法人まちづくりトプランナーふじのみや本舗 所在地 : 静岡県富士宮市東町9-17 TEL/FAX : TEL 0544-28-6770 FAX 0544-28-6770 担当者 : 理事長 渡辺孝秀 企画担当 望月誠一郎 メールアドレス : fujinomiyaohpono@cy.tnc.ne.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h2 style="color: red; font-size: 2em;">36</h2>
---	---

【タイトル/サブタイトル】 富士山の神水(湧水)に梅花藻の花咲く水の里・富士宮 (世界遺産候補)富士山の恵みである湧水に梅花藻の花咲くの里を巡るツアー 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 富士宮市は、富士山本宮浅間大社の境内に1日20万トン以上の湧水が湧き出る特別天然記念物の「湧玉池」が存在するのを始め、白糸の滝、猪之頭湧水群など富士山の湧水(神水)が各地に湧き出る水の里です。その湧水は富士山に降った雨が10~40年を経て湧出し、バナジウムを多く含んでいることが分かっています。更に、最近その湧水池には、緑鮮やかな緑の葉を持ち白い花をたくさん咲かせる水中花の梅花藻があることを発見しました。そのため、特に湧水が数多く存在し梅花藻が見られる「まち中」と「北部の猪之頭地区」を「湧水が湧き、梅花藻の花咲く水の里」として、それらを巡るツアーを企画しています。	【都道府県名】 静岡県	【観光地域名】 富士宮市中心市街地地域 猪之頭地域
【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	【旅の目的】 現在富士宮市は、も級グルメの代表である「富士宮やきそば」を食べに訪れる人が増えています。それに合わせて、富士山の湧水が湧き出ているまち中の湧水池を巡り、そこに咲いている梅花藻の花を見ると同時に、ルート上にある伏流水を使った造り酒屋やあんこ屋さんのジェラード、日本一の生産量を誇り、市の魚として指定されたニジマス料理など、富士山の恵みを堪能していただきます。	
【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 5~10月が梅花藻の花の咲く時期)	【催行人員】 30名 (最少催行人員: 10名)	【原価】 4,150円 (大人1名) 1日目の案内: まち中湧水案内ガイド(資料、誘導、説明)500円/人、富士宮やきそば代500円/人 2日目の案内: 井の頭地区案内ガイド(資料、誘導、説明)1000円/人、ニジマスランチ2,150円/人
【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名 4,150円(宿泊費含まない)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【旅行企画のセールスポイント】 現在、富士山の世界文化遺産登録に向けて、国、静岡・山梨県、及び関係市町で協力して進めています。また、静岡県では、静岡空港が開港し、陸、海、空を利用した観光客を誘致しようとして取り組んでいます。その中で、富士山は観光客誘致の大きな目玉であり、「富士山の日」を定めるなどして、観光客に富士山の景観、登山の他に新たに提供できる魅力ある資源を模索しています。そこで、富士宮市を、富士山の神水が湧き出るまちであり、その神水に梅花藻の花咲く水の里であるとして、大いにアピールし、新たな観光資源にしたいと考えています。富士宮市民にとって、富士山の湧水と梅花藻は、「富士宮やきそば」と同様に、身近にありすぎてその価値に気づいていませんが、これからその魅力に気づき、市民が大事に育て始めると、まち全体にある湧水池に梅花藻の花咲く水の里になります。富士山の湧水は水温が年間を通じて14度ほどで一定しているため、梅花藻の花の咲く時期も5月から10月と長く、観光資源として非常に良い素材です。これまでに知られている白糸の滝や湧玉池は、訪れた人に必ず感動を与えますが、それに加えて「富士山の神水の湧き出る梅花藻の花咲く水の里」は、全国各地から観光客を富士山麓に引き寄せる旅行企画の新たな素材となると確信しています。
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 富士宮やきそば学会 / 情報発信と富士宮やきそば提供	⑤ ふじのみや市民環境会議 / 梅花藻についての案内	② 富士宮商工会議所 / まち中の活性化への協力
③ 富士宮市観光協会 / 情報発信と資料提供、宿泊案内	⑦ 富士山本宮浅間大社 / お払い、湧玉池の由来説明等	⑥ 富士宮市環境森林課 / 湧水についての紹介、資料提供
④ 富士宮市ボランティアガイド/まち中の歴史施設や湧水の案内、	⑧ 富士高砂酒造 / 酒蔵の開放、仕込み水	

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	湧水の梅花藻は最近の調査、研究により発見されたものであり、今後市民、企業など幅広く協力者を広めます。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	●特別天然記念物の湧玉池とまち中の湧水と梅花藻の水の里巡り(水の里巡りの一例) 9:50 神田川せせらぎ広場集合・行程説明 →10:00 足の襪ぎ(足を浄める)→10:10 出発→10:20 富士山本宮浅間大社にてお参り→10:30 湧玉池の湧水と梅花藻見学と富士登山の襪ぎの説明→浅間神社の森中の水路道→10:45 富士高砂酒造(仕込み水と酒の試飲)→水音の散歩道→よしま池(遊水池と梅花藻の見学)→いろいろなまち中湧水地見学→12:30 お宮横町にて富士宮やきそばで昼食(休憩)→13:30 神田川と梅花藻見学→市内東側の遊水池巡り→15:30 富士山本宮浅間大社にてお祈り→16:00 解散・市内自由行動→17:30 市内ホテル・旅館(泊)
2日目	●白糸の滝と梅花藻の咲く猪之頭湧水群の水の里巡り(水の里巡りの一例) 8:30 神田川せせらぎ広場集合・2日目説明→8:40 バス・自家用車にて出発→9:10 白糸の滝着→白糸の滝見学→滝の説明・案内→10:30 白糸の滝出発→11:00 猪之頭養鱒場駐車場→養鱒場の見学と場内にある芝川源流の湧水池と梅花藻の見学→11:30 「鱒の家」にて昼食(ニジマス料理)→12:30 猪之頭養鱒場から遊水池回り→芝川源流の湧水池、陣馬の滝、ワサビ田、湧水と梅花藻の花の見学→14:00 井の頭養鱒場駐車場→14:10 解散・他の湧水池、または富士宮市内へ戻る
3日目	
4日目	

【1日目の主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
富士宮浅間大社・湧玉池(特別天然記念物) 	湧玉池から流れ出る神田川のせせらぎ広場 	酒造会社の富士山の伏流水の仕込み水 
富士山本宮浅間大社(通称富士宮浅間神社)は、富士宮市のまち中の湧水が湧き出る位置にあります。この神社は、他の神社がスギ、ヒノキ、天然林などの神社林を特徴とするのに対し、湧水の神社として特徴を持っています。昔は、富士山に登る人がここで身を浄めて(襪ぎ)から登りました。現在、この湧玉池の中にある梅花藻の価値を見直し外来種のカナダモなどを取り除き、梅花藻の花咲く湧玉池としようと進めています。	湧玉池から流れ出た水は神田川となってまち中を流れ下ります(湧玉池と神田川は平成の名水百選)。水温は年間を通して14度前後とほぼ一定です。一日20万トン以上という水量は、20万人都市の水道として供給できるほど豊かなものです。神田川にはせせらぎ広場があり、市民が直接水に触れることが出来ます。また、この広場前にはカナダモが多いのですが、梅花藻があり、今後、梅花藻のせせらぎ広場としていきます。	まち中にある酒造会社富士高砂酒造は、富士山の伏流水を使ってお酒を造っています。この酒造会社では、観光客に酒蔵などの見学を受け付けており、お酒の試飲などが出来ます。また、酒造に使う伏流水(仕込み水)は、いつでも飲むことが出来ます。そして、小規模ですが、現在市民グループと協力して、敷地内を通る水路にて梅花藻の育成実験に取り組んでおり、成果を上げています。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
湧水のよしま池で市民が育てている梅花藻 	湧水を農業や生活用水に分配する用水技術 	お宮横町にある飲用可能な湧水施設 
梅花藻は、市内の遊水池の各所に存在することがわかり、それを育てています。市内第2番目に大きな遊水池のよしま池でも育成しています。	湧水の用水技術は江戸時代以前からあり、徳川家康の命により富士宮の代官小泉次太夫は多摩川下流川崎市などの右岸、左岸の用水を造りました。	道路脇に常時流れ出ている湧水など数多くあり、その中には、一般にペットボトルで売られているバナジウム水に近い濃度が含まれています。

【 2日目の主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】		
<p>【 ポイント1 】</p> <p>白糸の滝（名勝及び天然記念物）</p>  <p>白糸の滝は、華嚴の滝、那智の滝のように、川や湖などの水により形成される一本の大きな滝ではありません。富士山が何度か噴火するうちに、水が浸透しない耐水層が出来、降った雨が地中に染みこみ、この層に沿って伏流水として下り、白糸の浸食された崖により地表に表れることかから、地層に沿って白糸のように帯状に流れ落ちるといった特殊な条件により形成された滝です。</p>	<p>【 ポイント2 】</p> <p>昔、源頼朝が立ち寄ったという陣馬の滝</p>  <p>源頼朝が1193年に富士の巻狩りを行った際に陣馬を張った場所という由来により名付けられた滝です。富士山の湧水が源の五斗目木川（ことめきがわ）にかかる滝で、何ともいえない清涼感が漂います。また、滝に連続して、地中から直接湧き出ている湧水があり、沢山の人がポリタンクを持って富士山の湧水を汲みに訪れています。</p>	<p>【 ポイント3 】</p> <p>ニジマスの養鱒場内にある梅花藻の池</p>  <p>猪之頭地区は、湧水の数と水量が豊かな地区のため、ニジマスの養鱒場が多くあります。静岡県の養鱒試験場などもあり、日本一のニジマスの生産量を誇る富士宮市の拠点地区となっています。場内には、ニジマスの養鱒池や鱒釣り場などがあります。また、上流部には、芝川の源流があり、豊富な湧水が湧き出ているのが見られ、梅花藻の咲く池も存在しています。</p>
<p>【 ポイント4 】</p> <p>静岡でも有名なワサビ店のワサビ田</p>  <p>ワサビは、静岡市や伊豆が生産地として有名ですが、きれいで豊かな湧水量を誇る猪之頭地区にも、ワサビ田が多くあります。富士宮市内にも、わさびを使用したぴりっと辛くスッキリとした「曾我漬け」があり、観光客にも喜ばれています。</p>	<p>【 ポイント5 】</p> <p>鱒の家での鱒づくしのランチ</p>  <p>猪之頭地区は、豊富な湧水を利用した養鱒業が盛んで、そのニジマスは、全国各地に出荷されていて、多様な利用がなされています。養鱒試験場に隣接して「鱒の家」があり、ここでは鱒づくしの料理を味わえます。お昼は、ニジマスランチが食べられます。</p>	<p>【 ポイント6 】</p> <p>湧水の下流に梅花藻が存在している</p>  <p>猪之頭地区は至る所に湧水があり、市の指定湧水池となっています。その湧水の流れの中には、緑色のきれいな葉をもつ梅花藻が存在しています。これまででは、湧水池としてのみ関心が高かったのですが、最近は梅花藻の生息地として注目されてきています。</p>

■全体として付加説明

<p>【 ポイント7 】</p> <p>まち中にはいろいろな自然湧水が存在します</p>  <p>まち中には、富士山の湧水がいろいろな形で湧き出ている、それが流れ放しになっています。このまち中の湧水を観光客の皆さんに楽しんでいただきたいと思います。</p>	<p>【 ポイント8 】</p> <p>緑鮮やかな梅花藻を新たな観光資源にします</p>  <p>梅花藻は湧き出たばかりの冷たくきれいな湧水と太陽の光が一杯当たる場所にしか育たないとても繊細な水中花です。派手さは少ないですが、花を沢山咲かせたときはとても素敵です。</p>	<p>【 ポイント9 】</p> <p>緑鮮やかな葉の上に小さな白い花が咲きます</p>  <p>梅花藻は、沢山の白く小さな花を咲かせます。小さな花は、水中や水中から顔を出して咲きます。近年は、滋賀県の醒ヶ井など梅花藻の花を見ようと多くの人が訪れる観光資源となっています。</p>
---	---	--

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月20日

【応募者】 団体名：熊野川体感塾 所在地：〒519-5716 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖203番地 TEL/FAX：TEL 0735-21-0314 FAX 0735-21-0313 担当者：谷上 嘉一 メールアドレス：w58yd3jp@za.ztv.ne.jp 登録旅行業：第 ー 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <h1 style="color: red;">37</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
熊野川体感ツアー	三重県	「熊野」 「東紀州」 (世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」) (吉野熊野国立公園)
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
熊野川の本流（自然な河川水）		

【日 程】 ① 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他（ ）

【旅の目的】 熊野川及び流域の自然や歴史、文化を体感して頂き、地域住民とのふれあいを通じて、来訪者に心の癒しと感動を与える。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・**通年** / (実施時期：3月初旬～11月末) 【催行人員】 45名 (最少催行人員：5名)

【原 価】	内 訳			
	体感料金(昼食付き) 5000円 (大人1名)	資金手当(食材費含む) 2830円 事務・通信費等 310円	燃料・光熱費 700円 雑費 350円	保険料 810円

【販売価格】 円 大人1名 【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- 川風を受けて進む川舟「三反帆」(さんだんぼ)に乗って櫓や楫、棹を使ってゆっくりと熊野川を巡ります。兩岸の景観や鳥の声を楽しみ、川の音、風の音を感じて頂きます。
- 川沿いに残っている険しい熊野古道「宣旨帰り」などを歩き、昔、熊野三山を巡った巡礼者の苦難に想いを馳せて頂きます。
- 「にほんの里100選」「浅里郷」周辺の散策や、四季折々の地産の食材を使った食事を楽しんで頂き、又、工芸品作りなど熊野川のほんまもの魅力を体感して頂きます。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 東紀州観光まちづくり公社	／ 広報	⑤	／
② 里創人 熊野倶楽部	／ 集客	⑥	／
③	／	⑦	／
④	／	⑧	／

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】

- 熊野川体感塾は任意団体で現在熊野川流域の地域住民26名で構成し運営している。
- 集客事業における旅行業法への対応は、運送法による「川舟船頭が行う日帰りツアー」として許可を受けており、現在7人の船頭と7艘の川舟を有している。
- この事業は地域の発展を第1義に考え地域の人達との係わりを大切に、更に熊野川や流域の自然や歴史、文化などの地域資源の保全に努め、来訪者に感動を与える旅を提供することを主な理念としている。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	10:00 現地集合(体感塾事務所又は浅里キャンプ場) 10:00～12:00 川舟「三反帆」で熊野川巡航 熊野古道「宣旨帰り」散策 12:00～13:00 浅里キャンプ場「体感塾里の小屋」にて昼食 13:00～15:00 里の体験 川遊び 川舟回遊 15:00 解散	
2日目		
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 熊野川 大峰山と大台が原山系を水源とし熊野灘に注ぐ延長183kmの一級河川。吉野熊野国立公園に指定され、「川の参詣道」として川自体が世界で初めて世界遺産に登録されました。	【コメント】 熊野川の川舟「三反帆」(さんだんぼ) 三枚の帆を帆柱に掲げ風をとらえています。「三反帆」に乗れば、水の流れる音や鳥が羽ばたく音などを聞きながら、自然と一体化しゆっくりと優雅に熊野川を楽しんで頂けます。	【コメント】 熊野古道「宣旨帰り」(せんじかえり) 熊野川沿いの絶壁に残る古道で、増水すれば通れなくなり、昔、宣旨(法皇の命令書)を持った使者も引き返さざるを得なかったという難所。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 浅里郷(あさりごう) 山の斜面に約50戸の家々が石垣を築いて身を寄せ合う。かつては川舟が交通手段。川と石垣集落の間の水田も調和がとれている。と評価され「にほんの里100選」に選ばれました。	【コメント】 飛雪の滝(ひせつたき) 浅里のキャンプ場にある高さ30m幅12mの滝。紀州藩主徳川頼宣が流れ落ちる水の美しい飛沫を嘗にたとえたことから飛雪の滝と名付けられた。	【コメント】 食の味わいと交流 地元の食材を使って住民の方々が作った素朴な食事を味わって頂きます。そして船頭や住民の方々の語らいやふれあいを楽しんで頂きます。







【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

22年 2月25日

【応募者】 団体名 : 特定非営利活動法人赤目四十八滝溪谷保勝会 (名張市商工観光室 経由) 所在地 : 三重県名張市赤目町長坂 861-1 TEL/FAX : TEL 0595-63-3004 FAX 0595-63-8400 担当者 : 尾上 順子 メールアドレス : info@akame48taki.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">38</div>
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
名水百選の里山で、 ^{よもぎ} YOMOGI 摘みで草餅をついて元気になろう!!	三重県	赤目四十八滝
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 赤目四十八滝には、国の特別天然記念物の「オオサンショウウオ」が古代より生息しており、現代も変わらずに優々と滝川で泳いでいる。これは、赤目の生態系が変わっていない証であり、水がきれいな証でもあり、平成20年には環境省より平成の名水百選に認定された。地域の人は、赤目渓谷の環境を守りつつ、自然の恵みを受けながら生活している。その水の恵みを受けて、下流には、水田が広がりお米を作っている。それが「伊賀米」ブランドとなっている。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	桜の花が咲くころ、「よもぎ」を摘んで、草餅をつく体験を通して、田舎の生活を実感していただきたい。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 3月下旬~4月)	【催行人員】 10名 (最少催行人員: 4名)
【原価】	内 訳	
	1回につきお餅を3升として設定 もち米 3升 3000円 燃料 500円 その他の材料(あんこ・片栗粉等) 餅つきの手伝いの人(地元の人)への御礼として 2名 5000円 エコツアー 日当 8000円	1,750円 (大人1名)
【販売価格】	円 大人1名 円	【子供料金】 有 (円 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
春になると「つくし」や「たんぽぽ」と一緒に生えている「よもぎ」に注目しました。外国人に受けるようにあえて「YOMOGI」としました。よもぎは、日本のハーブとも言われ、健康維持や病気予防にいいと言われてます。特に浄血・増血・殺菌・新陳代謝促進・抗アレルギー・発がん抑制効果など健康志向の方には、びったりの食物だと思います。シニア世代やファミリー層や外国人に体験していただき、つきたての草餅の香りと味を実感してもらおう。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 赤目観光協会	/ 草もち等食品関係	⑤ /
②	/	⑥ /
③	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	赤目滝を流れている水の恵みを受けた、お米で作った草餅を体験することで、地域の食材・自然景観・生活文化などを取り入れて、地域住民が当たり前のようになっていることを、体験する。 食べきれなかった草餅は、お土産としてお持ち帰り。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	集合・・・よもぎ摘み体験・・・草餅つき体験・・・試食タイム・・・片づけタイム・・・日本サンショウウオセンター 赤目四十八滝をエコツアーガイドと歩いて自然観察をしよう・・・「千手滝」・・・日本サンショウウオセンターで解散	
2日目		
3日目		
4日目		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 「滝川」に生息している「オオサンショウウオ」 運がよければ出会えるかも・・・	【コメント】 新緑の赤目渓谷内	【コメント】 新緑の「千手滝」
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 赤目渓谷内 水が透きとおっているのがわかるかな・・・	【コメント】 小学校3年生の子供たちが、草餅づくりを体験	【コメント】 延寿院のしだれ桜 3月下旬頃から咲き始め、満開は4月上旬

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】







H22 年 2 月 15 日

【応募者】道畑 真由美 団体名 : 特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会 (名張市商工観光室 経由) 所在地 : 〒518-0469 三重県名張市赤目町長坂 861-1 TEL/FAX : TEL 0595-63-3004 FAX 0595-63-8400 担当者 : 道畑 真由美 メールアドレス : info@akame48taki.ne.jp 登録旅行業 : 第 - 号 (旅行者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) 39
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
赤目 山あり川あり探検ツアー	三重県	赤目四十八滝
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
水・自然・人との関わり		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 ③ 二泊三日 4. その他 ()	
【旅の目的】	昔からこの地域の人たちの水にまつわる逸話や生活文化について知ってもらう。 水と自然の関わりを五感で感じながら理解してもらう。	
【実施時期】	春・④・秋・冬・通年 / (実施時期: 6月~9月)	【催行人員】 10 名 (最少催行人員: 2 名)
【原価】	内訳 人件費 (ガイド1名 パトロール1名) 3日分 ※宿泊・食料金別 21000円 (大人1名)	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
地元民でも知らない沢や山の秘密の場所をガイドがお教えます。 赤目の伝統から自然まで五感をふんだんに使った欲張りツアー		
【企画協力 (後援) 機関・団体名/主な役割】		
①	/	⑤ /
②	/	⑥ /
③	/	⑦ /
④	/	⑧ /
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	赤目口駅→一の井→宮山古墳→赤目の森→林道→赤目四十八滝→旅館宿泊
2日目	宿泊先出発→赤目四十八滝 入口→夫婦滝→山椒谷→昼食→沢登り→林道→大日滝→展望→滝入口→宿泊
3日目	宿泊先出発→林道→長坂山登頂→梅林コース→赤目滝ハイキングコース→道観塚→星川→赤目口駅
4日目	

【主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】 宮山古墳の中を覗いて見よう	【コメント】 ふかふか落ち葉の赤目の森	【コメント】 越えたりくぐったりの天然アスレチック
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】 山椒谷を独り占め 静けさの中を行く沢登り	【コメント】 大日滝からの展望は最高	【コメント】 知る人ぞ知る道観塚の歴史

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年02月26日

【応募者】 団体名：株式会社 旅行屋 所在地：三重県伊勢市小俣町宮前296-8 TEL/FAX：TEL0596-28-5456 FAX0596-28-5479 担当者：河村 和郎 メールアドレス：kawamura@ryokoya.co.jp 登録旅行業：第 2 - 245 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA 会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：24-245	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <h1 style="color: red;">40</h1>
--	---

【タイトル/サブタイトル】 地域の応援に支えられる五桂池「高校生レストラン“まごの店”」宮川の清流で育まれた三重のブランド松阪牛調理体験と勢田川の水上輸送で栄えた「伊勢河崎」の町並み、日本で初めての「川の駅」から「海の駅」まで平成の「船参宮」気分を味わいます。	【都道府県名】 三重県、伊勢市 多紀郡多気町	【観光地域名】 三重県伊勢市(神社港・河崎) 多気郡多気町五桂池
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 ここで基本的に確認したいことは、「水」の特性ということで、そこにあまり重心を置きすぎると、「旅」そのものがコンテスト用の陳腐な、拘りだらけのものになりはしないかと危惧するものです。思いは分るけど、 実際実現性があり、売り手側の旅行会社さんにも利益があり、お客様にも行ってみたいと思わせる商品 であることが一番重要ではないかと思えます。その観点から主は「旅」として成立しているか、そこに「水」がどう関わってくるかということで、造成してみました。		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他()	【旅の目的】 こちらもいかにもお役所らしい設問ですが、旅はひたすら、面白そう、行ってみたい、美味しそう、そんなことが出来るの？といった、 センスオブワンダー がその旅にあるかどうかだと思います。テレビで見た「まごの店」に行ってみたい、行ったけどいつも売切れでどうしたら食べられるの？え～自分で調理も出来るの？伊勢はよく行くけど「川の駅」で何？平成の「船参宮」で何？とお客様の知的好奇心を満足させる仕掛けが一杯です。	【実施時期】 春・夏・秋・冬・ 通年 / (実施時期：土・日、まごの店開店日)	【催行人員】 36名 (最少催行人員：4名～)
【原価】 4,500円 (大人1名)	【販売価格】 5,000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【原価】 内訳 まごの店：調理体験・昼食・お土産エプロン (@3,500円) 伊勢商人館入館料 (大人@300円、高・大@200円、中・小@100円) 船参宮乗船代 (@500円、小人@300円)、旅行保険 (@200円) 注) 個人の場合は、船のチャーターが出来ませんので、土曜日の定期船利用となります。	【子供料金】 有 (@4,500円/1名) ・ 無 調理体験ある場合は、小学校4年以上参加可、なき場合はそれ以下でも同行は可。(同行のみは1,000円程保険手配料+入場・乗船実費を頂きます)

【旅行企画のセールスポイント】(何よりもツアーとしての実現性の高さ**、造り手も、送客側も**利益を確保し**やすいのが一番のポイント！)**

日本中どこにも無いレストラン「まごの店」で～三重県お肉料理コンテスト優勝メニューの「松阪牛の南蛮漬け」と「松阪牛しゃぶしゃぶ肉のお吸い物」の2品を生徒たちの指導で調理体験していただき「水の里」特製メニューとしてお召し上がり頂きます。また江戸時代に農業用水を確保する為に作られた五桂池は今、ベタルポートや動物園、パーベキューハウスと人々の憩いの場となっておりますが、その当時に立ち退きを迫られた人々の悲話、今のダム建設も思い起こさせます。その一角にある「五桂池ふるさと村」では「おばあちゃんの店」で地元産品のお買い物。その後は伊勢河崎に移動、まだまだ知名度の低い、勢田川の水上輸送で栄えた伊勢の台所「河崎」の町並み「河崎商人館」を地元案内人さんのご案内でご覧頂きます。その後は河崎「川の駅」より、和船「みずき」で船参宮(勢田川遊覧)気分を味わって頂きます。途中「二軒茶屋」では一旦陸上上がり、参宮銘菓の二軒茶屋餅とお茶のご接待をいただき、最終目的地「海の駅」神社港(かみやしろこう)到着、地元案内人さんのお話を船中でも、海の駅でもお聞き頂きます。(和船の定員が20名の為、人数多い場合は、神社港乗船～二軒茶屋～河崎コースと上記コースの2班に分かれる場合もございます。また調理体験でご利用頂いたロゴ入りエプロンはそのまます土産としてお持ち帰りいただけます。このエプロンは、知的障害者更正施設「風の丘」で作成されたもので、地域の施設への貢献にも繋がります)

まさに地域の誇りの学校、先生、生徒や水とともに生活する人々との交流を通じ、そこを楽しまれてくれる人のために企画しおもてなしをする旅そのものです。当然地域でインフラ整備された「海の駅」や「川の駅」和船「みずき」をより活性化させることになると信じて疑いません。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】 ① 相可高校食物調理クラブ/調理体験、食事サービスに当たります ② 多気町五桂池ふるさと村「まごの店」/キッチン、ホールの提供 ③ 多気町五桂池ふるさと村「おばあちゃんの店」/地場産品販売 ④ 多気町知的障害者更正施設「風の丘」/記念のエプロン作り	⑤ NPO法人みなとまち再生グループ/みずきの運行と案内 ⑥ NPO法人伊勢河崎まちづくり集/河崎の魅力と案内 ⑦ 二軒茶屋餅/銘菓二軒茶屋餅とお茶のご接待、販売 ⑧ 三重交通(株)、(株)三交タクシー/個人客及び団体輸送に当たります
【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】 今回のコンセプトは、① 行ってみたい (地元で並んでも食べられない、生徒とお客様が自ら作る松阪牛の「水の里」特製メニューの昼食が食べられる) ② 安価である (松阪牛をふんだんに使った料理がこの価格、しかも手作りが出来て、お土産、入館料、クルーズ?気分も味わえてこの値段!絶対ツアーの中に入れてほしい) ③ わびさびがある (地域に支えられ(産・官・学)が協働して実現した相可高校のまごの店がいかにして出来上がったのか、どのように生徒だけで運営されているのかご自身の目で確かめていただけます、またどうしても伊勢神宮やおはらい町の陰に隠れてしまう、伊勢の台所であった「河崎」、船参宮で栄えた「神社港(かみやしろこう)」を再発見することによりお客様の知的好奇心を必ず満足させることでしよう。④ 地域にも経済効果を生みださせ活性化させる 。多気町五桂池ふるさと村「おばあちゃんの店」での地元産品の購入、多気町知的障害者更正施設「風の丘」へのエプロン製作の発注による経済効果、まだまだ認知の少ない「河崎」や「商人館」「川の駅」「船参宮」「海の駅」というインフラを運営という千載一遇の機会に表舞台に登場させ、河崎や神社港の町おこし、町づくりに携わる方々の労苦に報いたいという狙いがあります。⑤ そして、何よりも独創的で、他者に真似の出来ないオリジナルな商品 であること。ツアーとしての実現性の高さ、造り手も、送客側も利益を確保できる商品であること、旅行後も各家庭で同じ料理を味わうことにより体験を共有できる広がりのある商品だと自信を持って提案致します。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	<基本コンセプト> 平成25年の式年還宮、還宮に先駆けてヒノキ薫る宇治橋完成と注目を集める伊勢神宮やおかげ横丁ですが、そういうことで旅行のコースに入れられる旅行業者さんは多いと思われ、そこで基本の旅行コースや宿泊は送り手側の旅行会社さんにお任せします、私どもにはそのうちの4時間30分だけお時間を下さい、それだけでどこにも無い独創的な伊勢志摩旅行がお値打ちな価格で完成することを保障いたします! (送り手側の旅行会社さんの自由度が高いこと、これこそが「着地型旅行」本来の姿だと確信いたします)
逆パターン	<基本のスケジュール> ～13:00頃多気町「五桂池ふるさと村「まごの店」」到着、着後ブリーフィング～サブキッチンにて調理体験(人数多い場合は入れ替え有り)～ご自身で作られた2品を含め昼食、ご利用エプロンは記念にお持ち帰り～お隣の「おばあちゃんの店」で地元産品のお買い物をお済ませ～伊勢河崎へ移動、「河崎の町並み・河崎商人館」を地元案内人さんの説明で入館見物、「川の駅」から和船「みずき」で船参宮の始まりです、途中二軒茶屋では一旦陸上上がり、お店のご好意で、名物二軒茶屋餅とお茶のご接待をして頂きます、お買い物後再び乗船、最終目的地、神社港「海の駅」でも地元案内人さんにご説明頂き、ツアーを終了いたします。あとはお帰りになるか、伊勢・鳥羽・志摩方面にお宿をお取り頂きお向下さい。(全行程で4時間30分程度の拘束を予定しております) *鳥羽・志摩お泊りで、午前中をご希望の場合、又は午前中に伊勢河崎に入れる場合は、行程をひっくり返しまして、宿泊先から又は発地から午前中伊勢河崎へ移動、「河崎の町並み・河崎商人館」を地元案内人さんの説明で見物、「川の駅」から和船「みずき」で船参宮の始まりです、途中二軒茶屋では一旦陸上上がり、お店のご好意で、名物二軒茶屋餅とお茶のご接待をして頂きます、お買い物後再び乗船、最終目的地、神社「海の駅」でも地元案内人さんにご説明頂き、多気町移動～13:00頃多気町「五桂池ふるさと村「まごの店」」到着、着後ブリーフィング～サブキッチンにて調理体験～ご自身で作られた2品を含め昼食、ご利用エプロンは記念にお持ち帰り～お隣の「おばあちゃんの店」で地元産品のお買い物をお済ませ15:00頃出発といった行程でしょうか。 注) お屋の時間が遅いのは、「まごの店」の繁忙時間を避ける為です、毎行列が出来10分で完売するこのレストランは地元でも行くかと思っても簡単には行けないレストランです、今回担当の村林先生の全面協力のもと実現したツアーですので、生徒の負担、学校行事など差し支えない部分でのご手配となりますのでご了承願います。また4名様以上の個人グループにも出来る限り対応させていただきますが、その場合は、タクシー、ジャンボタクシー、マイクロ、中型バス、大型バスなどの足回りもご手配可能ですのでご用命くださいませ。(地元及び近景の日帰りから、県外、インバウンド、泊数に関わらずご利用いただけます)

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】  (まごの店/店内イメージ)	【ポイント2】  (調理体験/イメージ)	【ポイント3】  (「水の里」特別メニュー/イメージ)

<p>【コメント】 「まごの店」店内の様子です、調理もサービスをするのも皆、高校生です。オープン前から整理券を配り、開店 10 分で売り切れてしまうという超繁盛店です。詳しくはサイトをご覧ください。http://jr2uat.net/mago/mago.htm</p>	<p>【コメント】 簡単なオリエンテーションのあとサブキッチンでの調理体験です。この画像は料理教室の画像ですが、こんな感じで 2 品ほどご自身で調理して頂きます（人数多い場合は入れ替え有り）</p>	<p>【コメント】 こちらが「水の里」特別メニューです。煮物、天ぷら出し巻き、酢の物をベースに、手作りの松阪牛の南蛮漬け、松阪牛のしゃぶしゃぶのお吸い物、香の物、ご飯が付きボリューム一杯の出来上がりです。お味は腕次第？</p>
<p>【ポイント4】</p>	<p>【ポイント5】</p>	<p>【ポイント6】</p>
 <p>(高校生レストラン「まごの店」/おばあちゃん店 & 店内/お土産の特製エプロン/イメージ)</p>	 <p>(和船「みづき」と宮川・勢田川河口 付近航空写真/イメージ)</p>	 <p>(勢田川の川面に映える蔵造りの河崎/イメージ)</p>
<p>【コメント】 「まごの店」正面、お土産に付くロゴ入りエプロン（内ポケットには「高校生レストラン本日も満席」というロゴもごぞいます。「おばあちゃんの家」と店内の物産の様子、今は時期的に柿やみかんがお値打ちに出ました。（12 月撮影）「五桂池ふるさと村」 http://www.furusatomura.taki.mie.jp/</p>	<p>【コメント】 平成 16 年度に復元された伊勢船型木造船みずき（定員 20 名）が勢田川を遊覧します。船内では船参宮の歴史等語り部さんのお話を聞いていただけます。（運行可能なら雨天でも OK）、途中休憩立ち寄りの二軒茶屋餅はきな粉に包まれたこしあんのお餅柔らかくとても上品な味で美味！ http://www.kamiyasirominatomi.com/ http://www.ztv.ne.jp/poheo/ise/nikenchaya.html</p>	<p>【コメント】 「河崎商人館」は伊勢河崎のまちづくりと伝統文化継承のための拠点施設。伊勢の台所として、江戸時代より伊勢と伊勢を訪れる人々の生活をまかなった問屋街の代表的な商家を修復した施設。 http://www.e-net.or.jp/user/machisyu/snkan_index.htm</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年2月23日

【応募者】 団体名 : 株式会社 にこやか旅行 所在地 : 岐阜県大垣市新田町3-6林ビル2階 TEL/FAX : TEL 0584-47-5665 FAX 0584-88-1955 担当者 : 山中 和洋 メールアドレス : yamanaka@258k.co.jp 登録旅行業 : 第 3-283号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : 岐阜県第3種283号	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <h1 style="color:red; font-size: 2em;">41</h1>
--	--

【タイトル/サブタイトル】 神秘の水、おいしい水、豊かな水。そして水との戦い。 “西美濃”水ふる里と「奥の細道むすびの地」を訪ねて	【都道府県名】 岐阜県	【観光地域名】 大垣市・養老町 揖斐川町・海津市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 豊富でおいしい地下水に恵まれ、「水の都」と呼ばれる大垣、神秘の水、「養老の滝・孝子伝説」、日本一の貯水量を誇るロックフィルダム「徳山ダム」等の特徴を背景にして地域の産物や歴史、文化を活かした旅をご案内します。		
【日程】 1. 日帰り (2. 一泊二日) 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】 千年の昔から健康を支えた水ふる里 “西美濃” 神秘の水、おいしい水、豊かな水、そして水との戦いを、人とのふれあいを通じて、体験していただきます。		
【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 3/下旬~11/30)	【催行人員】 40名 (最少催行人員: 15名)	
【原価】 21,000円 (大人1名) (旅行業登録のある場合のみ記入)		
【販売価格】 21,800円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】 水が豊かでおいしい西美濃には、水にまつわる伝説・伝承が数多くあります。また水との戦いを今に伝える輪中と治水も歴史文化のひとつです。名水と名物、自然、歴史文化まで、水と出会い、水と親しみ、水の魅力を満喫できる場所があります。 ①日本名水百選の「養老の滝・菊水泉」②地下水が自噴する“平成の水百選”「加賀野八幡神社自噴井戸」 ③日本一の貯水量を誇る「徳山ダム」④木曾三川の治水工事 ⑤俳聖・松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えた地 ⑥全国シェア8割を誇る大垣市特産品の木製のプレゼントや大垣三大名物の試食。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 大垣市観光協会 / 資料提供・案内	⑤ 海津市商工観光課 / 資料提供・案内	
② 大垣市商工観光課 / 同上	⑥ ロワジュールホテル大垣・揖斐川丘苑 / 宿泊	
③ 揖斐川町商工観光課 / 同上	⑦ 枳工房ますや 大橋量器 / 枳製作体験	
④ 養老町商工労働課 / 同上	⑧ ふるさと大垣案内の会 / 観光ガイド	
【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —		
【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —		
【特記事項】 大垣の祭事期にあわせると、よりいっそう楽しめます。 4月上旬: 奥の細道むすびの地、舟下り芭蕉祭、さくらまつり 5月上旬: 大垣まつり 8月上旬: 大垣水まつり 10月中旬: 大垣十萬石まつり、10月上旬: すのまた秀吉出世まつり 11月: 中仙道赤坂宿まつり、芭蕉元祿楽市・楽座		

【エントリーシート 別紙】

【行程表】			
1日目	大垣駅又は、岐阜羽島駅====国営木曾三川公園・千本松原・治水神社===養老の滝・菊水泉=====養老温泉 又は、大垣市内(泊) 17:30頃	11:00頃	12:00~14:00 15:00~17:00頃
2日目	宿=====加賀野八幡神社自噴水=====奥の細道むすびの地記念館=====徳山ダム=====大垣駅 又は 岐阜羽島駅 15:30頃	8:30 約20分 ~9:00	※平成の水百選 ※「水の都大垣」 ※日本一の貯水量を誇る 9:45~12:30 水門川遊歩道「四季の路」 13:50~14:00 (昼食) ※大垣名産品“枳”にて試飲

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
平成の名水百選「加賀野八幡神社：自噴水井戸」 	徳山ダム 	日本名水百選「養老の滝・菊水泉」 
【コメント】 大垣市は全国でも有数の自噴帯に位置しており、豊富な地下水の恵により水の都と呼ばれてきました。今でも良質な地下水が自噴している井戸は数多く見られます。中でも加賀野八幡神社井戸は、「岐阜県の名水」に指定され平成20年には環境省より『平成の名水百選』に選ばれました。深さ136mから、清らかな地下水がこんこんと湧き出ており、天然記念物“ハリヨ”の生息場にもなっております。	【コメント】 西美濃の新しい観光スポット日本一の貯水量を誇るロックフィルダムの徳山ダムは西美濃最北部、揖斐川上流に位置し高さ161m、長さ427.1m、総貯水容量約6億6,000万㎡(浜名湖の水量の約2倍)の日本最大級のロックフィルダムです。四季折々に移り変わる豊かな自然とともに楽しむ事ができます。	【コメント】 孝子伝説で有名な日本三名瀑の一つ養老の滝。約30mから流れ落ちる水は、夏なお肌寒さを感じさせるほどの見事な景観です。酒に変わったという水は生命を育む若返りの水であり、ときの天皇が「老いを養う水」にちなみ「養老」と改元したと伝えられるほどです。公園には元正天皇が浴されたと伝えられる泉、「菊水泉」があります。この泉の水は菊の香りがするというので名がついたと言われます
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
●奥の細道むすびの地 ●観光ボランティア   ●夏の風物詩 水まんじゅうと三大名物お菓子 	●木曾三川公園 ●千本松原  	●ロワジュールホテル大垣   ●養老温泉ゆせんの里  
【コメント】 松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終えた地で詠まれた「給のふたみに別行秋ぞ」を刻んだ給塚など句碑めぐりを「ふるさと大垣案内の会」の観光ボランティアガイドがまごころ込めてご案内します。大垣の豊富な地下水や自噴水のおいしい水を活用して様々な食産業が生まれました。おいしい和菓子作りにはおいしい水が欠かせません。大垣の代表的な銘菓・金鱈目饅頭をはじめ、柿羊羹、みそ入りせんべい等があり、中でも水まんじゅうは店頭で水に冷やしたまま売られ、夏の風物詩となっています。3大名物の試食と芭蕉元祿いなすしの昼食をご用意いたします。	【コメント】 展望タワーからは、木曾三川(木曾・長良・揖斐)と濃尾平野の雄大な風景が間近に見られます。江戸幕府が藩政に命じた治水工事が今に言う「宝暦治水」です。薩摩義士が植えた松は、約1kmの美しい松並木になっています。この地区は大河が合流する低地の為、昔から繰り返し洪水に襲われました。そこで住民たちが共同で堤防を築き、村全体を輪のように堤防で囲んだ「輪中」が発達しました。	【コメント】 モダンで機能的なホテル、ロワジュールホテル大垣では「10大特典付の芭蕉パック」でさらにご満足。夕食は芭蕉水御膳の夕食をご用意します。 雄大な養老山系を望む自然豊かな天然温泉「ゆせんの里」では、自家栽培野菜や無農薬・減農薬の食材を厳選した体に優しいお料理提供いたします。